

平成 19 年 1 月 29 日

大川石材ニュース NHK全国放送 ふるさと一番！

「若い力で磨きをかける石の里～香川県 高松市～」

に寄せられたご意見等について



〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13
電話(087)845-9640 E-mail info@ookawasekizai.com
FAX(087)845-7510 http://www.ookawasekizai.com

平成 19 年 1 月 15 日(月) 12:20～12:43 女優 千堂あきほさんが旅人となって、庵治石のよさを伝える生放送「ふるさと一番」に庵治石の採掘業や加工業の経営者の後継者で構成する「石栄会」が中心となって「庵治石の魅力」を伝える番組が放映されました。

大川石材の工場も放映されました。「工場がきれいですね。」「庵治石のこと初めて知りました。」「お久しぶりです、お元気そうでなによりです。」などたくさんの方から連絡をいただきました。

製品作りに追われる時でしたが、全力で番組作りにも取り組みました。全国放送と頭では理解していましたが、放送後に東北から九州まで多くの方から連絡をもらって本当に全国に放送されたことを心と体で感じました。

「いい番組」を作ろうと製作に取り組んで下さった、NHK スタッフの皆さんの情熱と綿密な計画、そして、12 時 20 分時間通りあたりまえのように、全国に放映する高い技術に感激しました。

われわれも、この放送を通じて「最高の素材に負けないように、日々最高の石材加工技術を目指し」今後もよい製品作りに取り組んでまいります。

今回、電話やメール等で質問があった内容についてQAのかたちでまとめてみました。



Q:「硬い」「丈夫で長持ち」「独特の模様」「光沢」「世界一」についてくわしく教えてください。

庵治石は、マグマが深い地中でゆっくり固まった火成岩の中の深成岩です。その中で花崗岩に分類され、正式には細粒黒雲母花崗岩といわれます。

主成分は石英・長石であり、少量の黒雲母と角閃石を含みます。結晶が極めて小さく、結合が緻密なのか特徴であり、このため水晶と同じ硬度7度ぐらい「硬い」のです。

このため細かな細工が可能であり水を含みにくいため、風化・変質に強く、長期わたり色・艶が保て、彫った文字も鮮明に残ることから「丈夫で長持ち」なのです。

最大の特徴は、世界中の石材の中でも類がない研磨した石表面に黒雲母が特に緻密に入り、まだら模様に浮き上がって見え「(ふ)」と呼ばれています。TV でも放映されたように磨きによる「光沢」と「独特の模様」である「斑」が「花崗岩のダイヤモンド」と言われる「世界一」という理由です。

大川石材では、いい材料を吟味し、加工・研ぎの技術を高い品質の製品を作っています。それにしても香川県の庵治町・牟礼町にまたがる八栗五剣山山という風光明媚な山がマグマが固まって出来ているとは想像がつかないですね。



Q. 散らばったダイヤモンド(カッターの刃に含まれている)はどうするのですか。

石の切粉と一緒に粉塵となります。床に落ちた粉塵は、水で流して濾過し回収され産業廃棄物として処理します。とても残念ですが、ダイヤモンドとして回収は出来ません。



Q. 石の目に従って庵治石を大きなダイヤモンドカッターで4時間かけて切ると言われていましたが、この時にキズが出たらどうするのでしょうか。

もちろん製品には使えません。再度、丁場に才発注し取り寄せ、加工しなおします。

庵治石を組み合わせる墓石などでは、光沢や模様(石目)をあわせるために一度に丁場に石を発注します。このため、納品した原石を加工する最後の一つでキズが見つかったら全て作り直しのようなことにもなりかねません。

キズを加工する前にを見つけることは結局「人間力」にたよるしかありません。なかなか伝わりにくいのですが、硬い庵治石はキズが多く、製品になるまでには人間の経験にたよる部分が大きいのです。

Q:工場がきれいなのに驚きました。取材のために掃除をしたのでしょうか。

取材のために特段してはいません。整理整頓は物作りの基本と考え創業以来徹底してまいりました。

Q:磨きの作業は全て機械で行なうのでしょうか

TVでは平面な部分の機械による表面仕上げが放送されました。曲面や細かな部分など人力で研磨しています。

大川石材の製品は、創業以来砥石による研磨を標準仕上げにしています。TVで放映されなかったのが残念ですが、職人がひとつひとつ丁寧に磨いています。ぜひ、手作業による加工状況をご覧ください。



Q:斑と呼ばれる模様が浮き出ると言われていましたが、他の石では見られないのでしょうか。

いろいろな石も扱いましたが、庵治石特有のものです。

Q:昔の職人は文字彫りを最初にしていたと言っていますが、今の方はどうするのでしょうか。

今は、最終仕上げである磨きがまず最初にやる仕事です。昔の文字彫り同様、最後の工程で精神的に神経を使います。

加えて、大川石材では「技能士の資格取得」「技能五輪への参加」(平成18年度 銀賞受賞)など職人を育てるために取り組んでいます。



手作業のみで彫り完成させます。
基本作業の連続ですが、高度な技術が要求される。
幅50cm 奥行き30cm 高さ40cm
完成重量 30kg(原石重量50kg)
制限時間 6時間

平成18年度 技能五輪課題作品

Q:大川石材の墓石はどのようにしたら手に入りますか。

まずは電話を下さい。

大川石材は、庵治石の砥石仕上げを得意としています。砥石仕上げを「大川仕上げ」と命名し取り組んでおり、光沢計で最高98%を出しました。高度な技術力と設備がないと出ません。

庵治石の墓石のみことなら、「大川石材の墓石」を指定下さい、庵治石をより際立たせる研磨しあげてある「大川仕上げ」で仕上げお納めします。

Q:庵治石は高価と言われています、どうしてですか。何かコストダウンへの取り組みはしていますか。

先にも紹介したように、庵治石が高価な理由は、キズが多く歩留まりが低いことに加え硬く加工に時間と手間がかかるためです。しかし庵治石で建て方だけが分か価値があるため「庵治石」というブランドが樹立されています。

「大切な人のお墓はぜひ、日本の石で」という私たちの思いを実現するためにもコストを押さえる努力をしています

納品する製品について丁場との仕様等情報の連係力の向上により歩留まりを抑える

お客様(納入先)との図面等による情報の共有化による安心と品質の確保

に加え、自然採光や照明器具灯を省エネ製品に取替しエネルギーの効率的な使用などに取り組んでいます。

もちろん最も大切な技術継承や教育など挑戦することにより維持しています。

Q:工場見学は可能ですか

可能です。

近くには、「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地や、20世紀を代表する石の彫刻家イサム・ノグチイサム・ノグチの庭園美術館、四国第八十五番霊場八栗寺などがあります。観光も兼ねてぜひお越し下さい。



QRコード対応携帯をお持ちの方はご利用下さい

株式会社 大川石材
〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13
電話(087)845-9640 E-mail info@ookawasekizai.com

高松空港から タクシーでおよそ45分
JR 高松駅から高徳線 普通列車で屋島駅へ15分(特急で10分)屋島駅からタクシーでおよそ10分
高速道路 高松道高松中央ICで約9キロ(約25分)